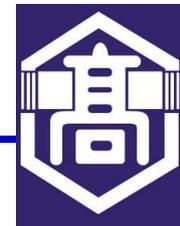


令和2年度 進路説明会 (生徒・保護者対象) オンデマンド開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、進路保護者説明会をオンデマンドで開催します。本校HP等で公開しますのでぜひご覧ください。

- 新しい入試制度について（大学入学共通テスト他）
- 令和2年度高校生の就職活動について（日程変更など）



新しい入試制度について

江津高校進路指導部
資料提供 (株) ベネッセコーポレーション
教育情報センター

背景と全体像・スケジュール

大学入学共通テスト

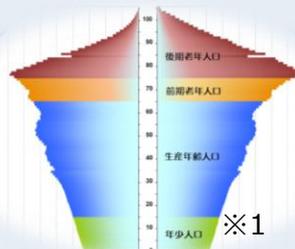
多面的・総合的評価



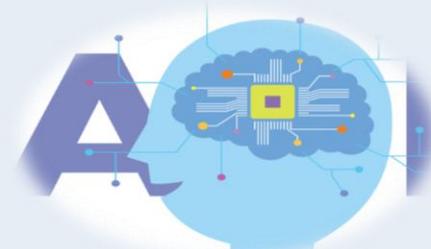
社会環境の変化



グローバル化



少子高齢化



AIの進展

予測のつかない社会において、様々な課題に対し
多様な人々と協働して解決していくことが必要な時代に

高校教育の改革

- 学力の3要素の育成
- 教育内容の見直し
- 学習・指導方法の改善
- 高校生のための学びの基礎診断の導入

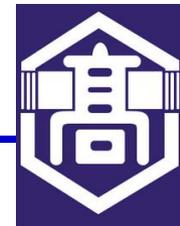
高大接続改革 (入試改革)

- 大学入学共通テストの導入
- 多面的総合的評価入試の拡大

大学教育の改革

- 3つのポリシーの明確化
- 社会との連携強化

※1:「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を加工して作成



新たな時代に必要となる資質・能力の育成

知識
技能

思考力
判断力
表現力

主体性
多様性
協働性

学力の3要素

大学入学共通テスト

思考力・判断力・表現力の重視

多面的・総合的評価入試

高校3年間の活動履歴や資格等も
評価対象に



新入試1年目
小学校新課程

中学校新課程

新課程入試一期生が
高校に入学

新課程入試1年目

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

高校

高3

新入試

コロナの影響あり

カリキュラム作成

新課程入試
一期生

高1

高2

高3

新課程入試

中学校

新課程入試
一期生

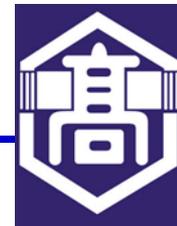
中2

中3

新課程
全面実施

小学校

新課程
全面実施



2020年度の学年別にみた教育・入試改革

高3

大学入学共通テストが始まる学年、過去問なしの入試

高2

新課程移行措置によって探究的な学びが広がる

高1

中3

現行課程の最終学年、安全志向

中2

新課程が始まる学年

中1

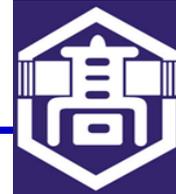


背景と全体像・スケジュール

大学入学共通テスト

多面的・総合的評価

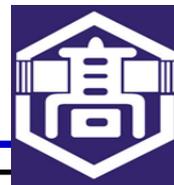
大学入学共通テストの概要（制度）



目的	大学教育を受けるために必要な能力の測定 ・思考力・判断力・表現力を中心に評価	令和3年度大学入学者選抜実施要項より、新型コロナウイルス感染症対策に伴う各大学における「大学入学共通テストの科目指定」「個別学力検査の出題範囲」等への配慮に関する記載あり
対象者	大学入学希望者 ※社会人等も受験可能	
出題教科科目等	現行学習指導要領下では「教科型」で出題 ※次期学習指導要領下（2024年度～）では出題教科・科目を、簡素化も含めて見直す	
形態	マークシート式問題 ・CBT導入の検討は続け、その成果を踏まえて2024年度からの複数回実施の可能性を引き続き検討 英語は2020年度からの4技能検定の導入を見送り ・2024年度からの導入を検討（2020年11月を目途に結論を出す予定）	
実施回数	当面は年1回実施 （複数回実施は引き続き検討） ※新型コロナウイルス感染症対策に伴う試験期日の配慮あり	
実施時期	①令和3年1月16日、17日 ②令和3年1月30日、31日 ※①の追試験としても実施 ③特例追試験 令和3年2月13日、14日 ※②の追試験として実施 ②については 学業の遅れを理由に当該日程を選択する者を対象 とするとともに、①を疾病等の理由で受験できなかった者の追試験として実施することとし、 全都道府県に試験場を設置する	
結果表示	現行のセンター試験よりも詳細な情報を提供（※1）	

※文科省資料、大学入試センター資料（2020年6月30日現在）をもとに作成

（※1）2019年12月17日に記述式問題の導入見送りが発表され、詳細については今後の発表待ち。



数学 I A の試験時間が 70 分に、英語リスニングの配点比が 1 : 1 に変更

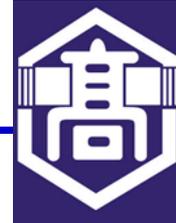
教科	科目	試験時間		大問構成		配点	
		センター試験	共通テスト	センター試験	共通テスト	センター試験	共通テスト
国語	国語	80分	80分	大問4題	大問4題	200点	200点
数学	数学 I A	60分	70分	必答2題 + 選択2題	必答2題 (※1) + 選択2題	100点	100点
英語	英語 リーディング	80分	80分	第1問 発音アクセント 第2問 文法、語句整序 + 第3問～ 文章読解	第1問～ 文章読解	200点	100点 (※2)
	英語 リスニング	30分	30分	大問4題 音声は2回読み	大問6題 1回読みも出題	50点	100点 (※2)

※1 数 I A の数 I 分野において、日常生活や社会の事象を扱った問題が大問 1 題または中間 1 題程度出題される

※2 英語リーディングとリスニングの配点の重みづけは各大学の判断に委ねられる

大学入学センター『大学入学共通テスト導入に向けた試行調査（プレテスト）（平成30年度（2018年度）実施）の結果報告』および

『令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針』をもとにベネッセ作成。大問構成は大学入試センター公表の試行調査を基準に示した。



試験日	出題教科・科目		試験時間
第1日	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理, 政治・経済」	2科目選択 9:30~11:40 (注1) 1科目選択 10:40~11:40
	国語	『国語』	13:00~14:20
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』【リーディング】 『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』 【筆記】 15:10~16:30 『英語』【リスニング】 17:10~18:10 (注2)
第2日	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30~10:30 (注3)
	数学①	「数学I」『数学I・数学A』	<u>11:20~12:30</u>
	数学②	「数学II」『数学II・数学B』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』	13:50~14:50
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	2科目選択 15:40~17:50 (注1) 1科目選択 16:50~17:50

令和3年度大学入学共通テスト実施要項より

第1日と第2日の実施科目はセンター試験と変わらず
第2日の数学①の試験時間延長により、数学①以降が10分後ろ倒し



背景と全体像・スケジュール

大学入学共通テスト

多面的・総合的評価



多面的・総合的評価入試の拡大

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う高等学校の臨時休業期間を配慮し、
スケジュールや選抜内容が変更・配慮される

学校推薦・総合型選抜の募集人員の拡大

- 国立大は推薦・AO入試等を30%まで拡大する目標を示している

入試方式の見直し 学力の3要素を問う入試へ

- 一般入試を一般選抜、推薦入試を学校推薦型選抜、AO入試を総合型選抜に名称変更
- すべての入試方式で「学力の3要素」をより重視

学力の3要素

主体性・多様性・協働性

思考力・判断力・表現力

知識・技能

一般選抜における主体性評価の拡大

- 一般選抜では「主体性等」の評価が不足しているとして、調査書や志願理由書などの受験者が記載する書類を活用
- ポートフォリオの活用が広がる

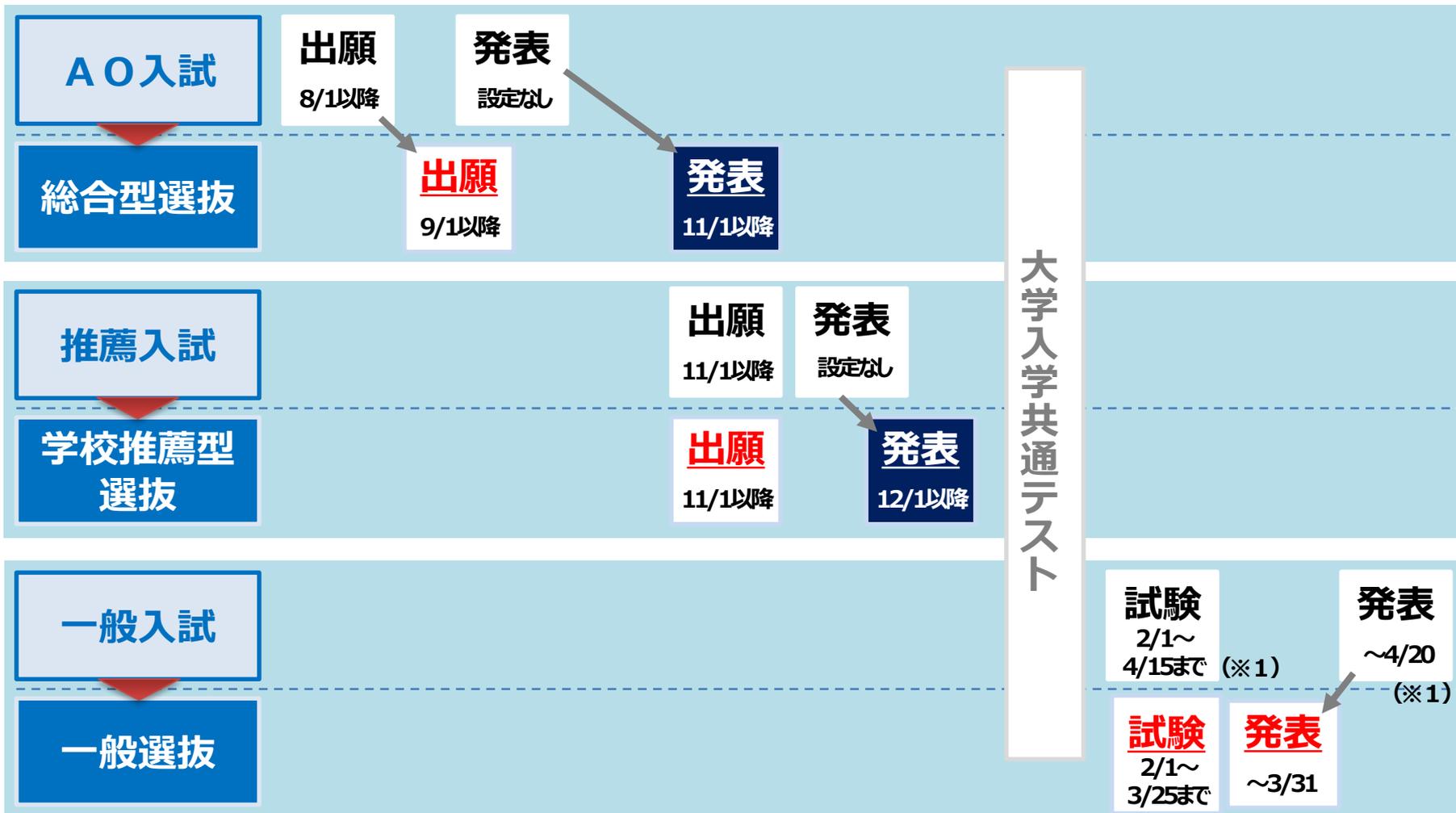
学校推薦・総合選抜における学力把握の拡大

- 学校推薦・総合選抜では「共通テスト」や「小論文」など何らかの学力把握措置が必須となる



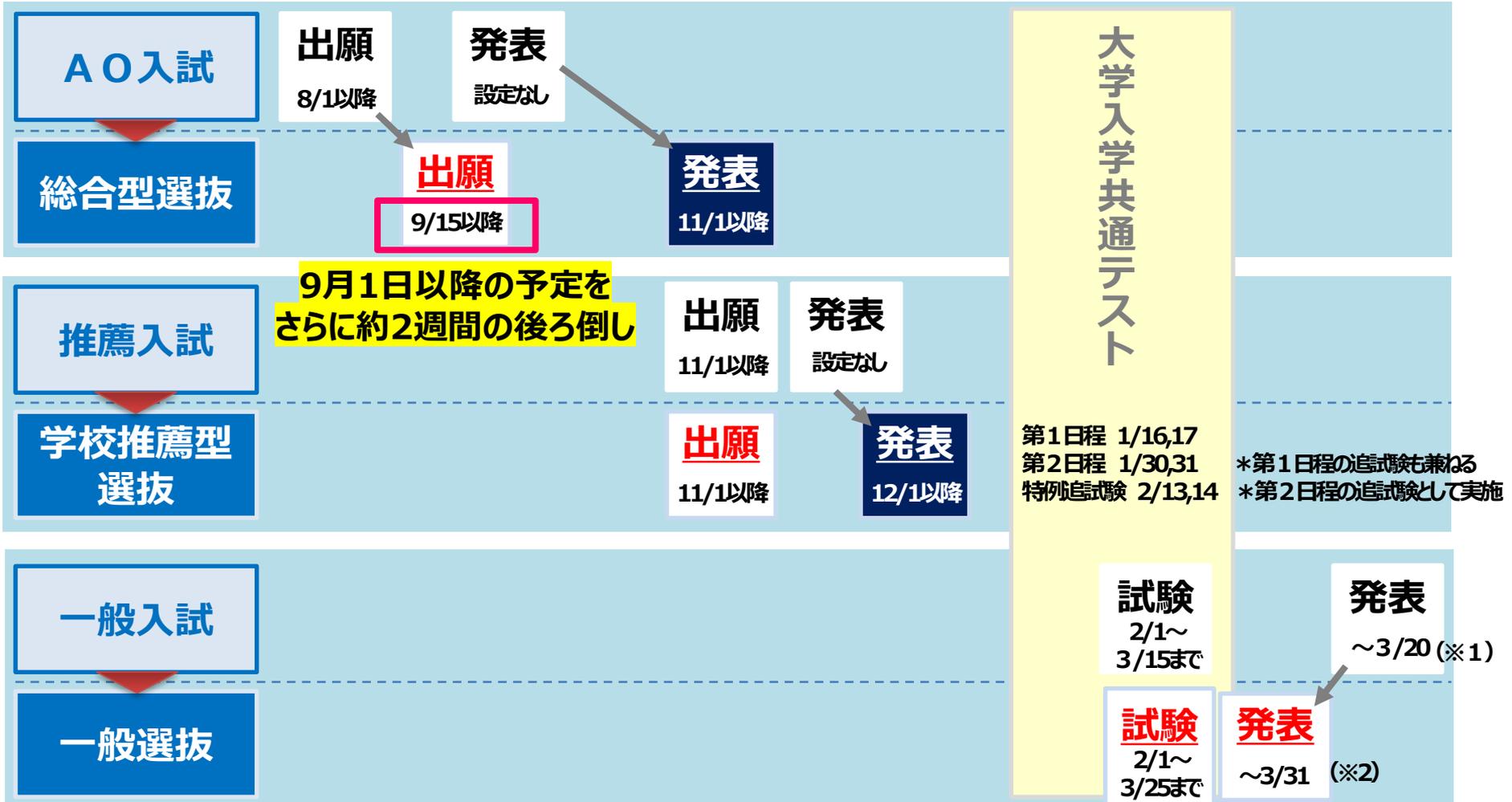
2021年度入試における出願・合格発表・試験日程（国公立大）

8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月



※1 AO入試・推薦入試でも教科・科目を課す場合は同様

8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月



※1 AO入試および推薦入試において学力検査を課す場合は同様

※2 総合型選抜および学校推薦型選抜において学力検査を課す場合は同様

令和2年度大学入学者選抜実施要項（令和元年6月4日付け元文科高第102号文部科学省高等教育局長通知）及び
令和3年度大学入学者選抜実施要項（令和2年6月19日付け2文科高第281号文部科学省高等教育局長通知）より作成



総合型選抜・学校推薦型選抜において変更が想定される

新型コロナウイルス感染症拡大や、それによる臨時休業などの影響を受けて、**プロセスや学ぶ意欲の評価を重視したり、選抜方法を変更したりする旨の通知が各大学に出されている**

部活動等の大会や資格・検定試験等の中止・延期が不利益とならないように**努力のプロセスや学ぼうとする意欲**を多面的・総合的に評価すること。

出席日数や特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって不利益とならないようにすること。

感染症の拡大防止に留意して、**I C Tの活用などによって選抜方法を工夫**すること。
I C Tの利用環境などで特定の志願者が不利益を被らないようにすること。

選抜方法を変更する場合は、その旨を明記し、早期に決定し周知すること。

2年前予告のルールによらず、**学力検査の教科・科目等を見直すことが可能**であるが、その場合は志願者への影響を十分に考慮すること。

大学のホームページ等を通じて**検討状況等を随時発信**し、変更については早期に決定し、周知すること。

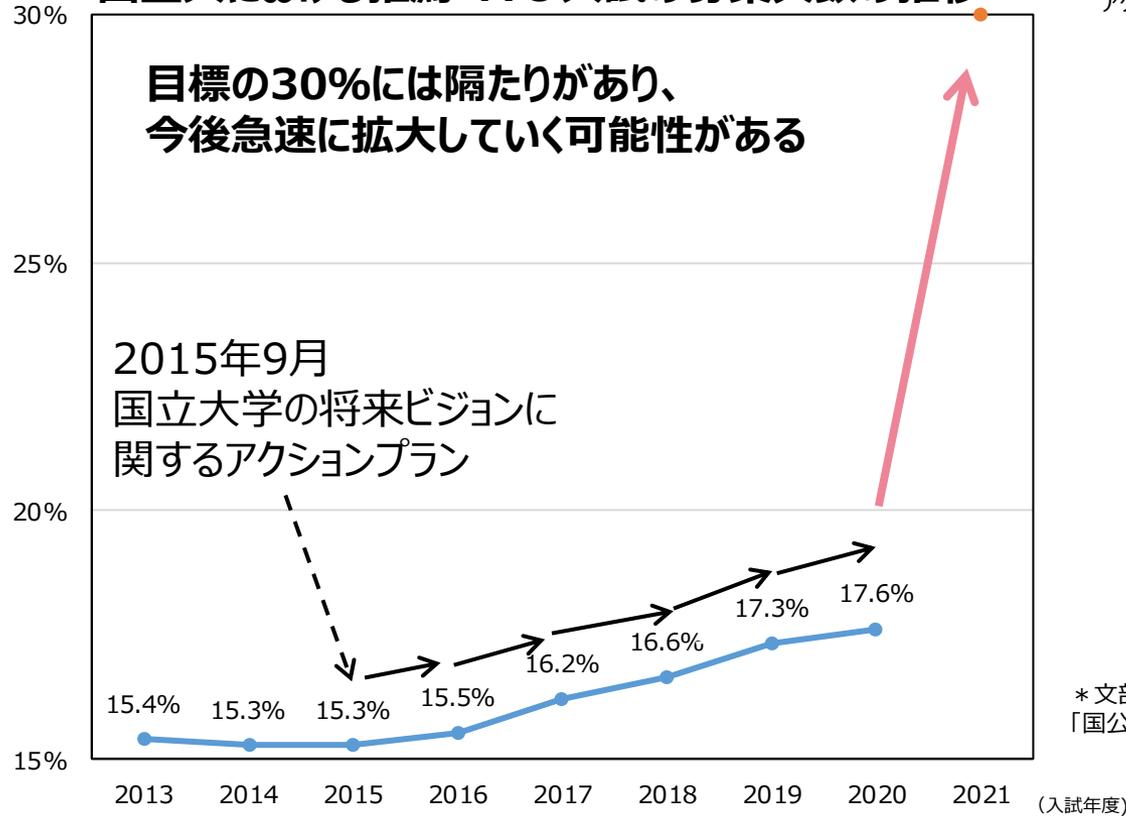
*「高等学校等の臨時休業の実施等に配慮した令和3年度大学入学者選抜における総合型選抜及び学校推薦型選抜の実施について（通知）」を元に作成



入試改革: 推薦入試、AO入試、国際バカロレア入試等の拡大(入学定員の30%を目標)個別入試における面接、調査書の活用等(準備から実施へ)

* 一般社団法人 国立大学協会
「国立大学の将来ビジョンに関するアクションプラン」より抜粋

国立大における推薦・AO入試の募集人数の推移



* 文部科学省
「国公立大学の入学者選抜」より

アクションプラン公表以降、国立大の推薦・AO入試は着実に拡大している
目標の30%に向けて、今後急速に拡大していく可能性がある



2021年度入試は 総合型選抜・学校推薦型選抜がさらに拡大

新入試を機会点として国公立大の総合型選抜・学校推薦型選抜の募集人員が例年以上に大きく増加する。その分、一般選抜の募集人員は減少することになるため、注意したい。

2021年度入試で総合型選抜・学校推薦型選抜の募集人員を増やす大学 (一部抜粋)

大学名	変更内容
北見工業大	工学部で 21人 増加
弘前大	人文社会学部、理工学部、農学生命科学部、医学部で合計 91人 増加
岩手大	教育学部、農学部で合計 32人 増加
東北大	経済学部、教育学部、法学部、農学部、医学部で合計 45人 増加
福島大	人文社会学群、理工学群で合計 22人 増加
東京都立大	人文社会学部、法学部、経済経営学部、理学部、都市環境学部、システムデザイン学部、健康福祉学部で合計 65人 増加
千葉大	国際教養学部、工学部、園芸学部で合計 15人 増加
横浜国立大	経済学部、都市科学部、理工学部で合計 31人 増加
岡山県立大	保健福祉学部、デザイン学部で合計 18人 増加

* 弊社調べ。5月中旬までに確認した情報をもとに作成



1. 入試区分（名称）の変更について

入試区分	入試区分
一般入試	一般選抜
AO入試	総合型選抜
推薦入試	学校推薦型選抜

本学が実施する入学者選抜の入試区分が次の通り、それぞれ変更されます。

2. 入学者選抜（特別選抜）の変更について

入試区分	学部等	入試区分	学部等
推薦入試 I	法文学部 教育学部 (学校教育課程Ⅱ類) 総合理工学部 生物資源科学部	総合型選抜 I 「へるん入試」 *大学入学共通テストを課さない	法文学部 教育学部 (学校教育課程Ⅱ類) 総合理工学部 生物資源科学部
AO入試 I	総合理工学部 生物資源科学部		
推薦入試 II	総合理工学部		

入試区分	学部等	入試区分	学部等
AO入試 II	教育学部 (学校教育課程Ⅰ類) 人間科学部	総合型選抜 II *大学入学共通テストを課す	教育学部 (学校教育課程Ⅰ類) 人間科学部

本学が実施する入学者選抜（特別選抜）を次の通り、変更します。

入試区分	学部等	入試区分	学部等
推薦入試 II	医学部	学校推薦型選抜 II *大学入学共通テストを課す	医学部

島根大学2021年度入学者選抜における学力試験実施教科・科目等について（改訂版）より

総合型選抜 I として「へるん入試」を設置



2. 「入学者選抜の趣旨と求める学生像」

- ・「へるん入試」では、基礎的な知識・技能に加え、それぞれの受験生が持つ多様で個性的な「学びのタネ」を重視する。「学びのタネ」とは、大学での学びを構築する上で必要な、特定の領域・事象に対する強い好奇心と課題意識のことである。
- ・具体的には以下のような学生を求めたい。
 - (1) 大学で学ぶにあたっての基礎的学力を有する人
 - (2) 特定の学問・教科に関心を持ち、それに継続的に向きあつたことのある人
 - (3) 知的好奇心を有し、それを主体的・積極的な探究により深めた経験のある人
 - (4) 他者と協働して何かをなし、それを自らの学びに役立てたことのある人

3. 「試験実施時期」と「試験内容」

- ・試験の実施時期は、2020年秋を予定している。
 - ・「へるん入試」では、「知識・技能」にとどまらず、学力の3要素を幅広く評価するため、以下の3つで評価を行う。
 - (1) 「調査書などの書類」（配点 80）
 - (2) 「読解・表現力試験」（配点 100）
 - (3) 「面接」（配点 100）
 - ・ただし、総合理工学部はこれに加え「理数基礎テスト」（配点 100）を課す。
 - ・後述する「特定型」入試は、これに加え付加科目などを課す。
 - ・大学入学共通テストは課さない。
- *それぞれの内容の詳細については、2019年夏に公表する。

4. 「実施学部と募集人員」

- ・法文学部・総合理工学部・生物資源科学部の3学部においては、従来の「推薦入試Ⅰ・Ⅱ」、「A/O入試Ⅰ・Ⅱ」を廃止し、「へるん入試」を導入する。募集人員は、学部定員の平均約30%である。
- ・教育学部においては、学校教育課程Ⅱ類に「へるん入試」を導入する。
- ・上記4学部の各学部各学科・各専攻での正式な募集人員については、2019年夏に公表する。

6. 「入学前教育」について

- ・「へるん入試」は育成型入試として、「入学前教育」を実施する。
- ・「入学前教育」の趣旨は、入学に向けての準備を行うことで、大学で学ぶ意欲を高めてもらうことにある。
- ・また「入学前教育」は、入学後の「初年次教育」などの大学教育と密接に連動させることで、高校での学びを大学の学びに円滑に結びつけることを意図する。
- ・「入学前教育」の内容は、各学部各学科・各専攻ごとに定められ、それぞれ4月入学時点において身に付けておいてほしい基礎的教養や専門的知識が課されることとなる。

島根大学総合型選抜「へるん入試」についてより

調査書などの書類：80点、読解・表現力試験：100点、面接：100点
入学前教育を実施し、基礎的教養や専門的知識の習得を目指す



名称変更	「一般入試」 ⇒「一般選抜」	「AO入試」 ⇒「総合型選抜」	「推薦入試」 ⇒「学校推薦型選抜」
内容面での 課題①	① 出題科目が1・2科目に限定されている ② 記述式がない場合も ③ 英語4技能を総合的に評価する必要あり	現行の実施要項「知識技能の習得状況に過度に重点を置いた選抜としない」と記載があるが、一部、事実上の「学力不問」となっている場合がある	現行の実施要項で「原則として学力検査を免除」とあるが、一部、事実上の「学力不問」となっている場合がある
課題①への 改善点	① 教科・科目に関わるテストの 出題科目の見直 ② 国語を中心とした 記述式の導入 ・充実など作問の改善 ③ 英語4技能評価の導入 ※上記①～③は総合型選抜・学校推薦型選抜でも推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・「学力不問」につながる記載の削除 ・志願者本人の記載する資料 (活動報告書、入学希望理由書、学修計画書)等を積極的に活用し、詳細な書類審査と丁寧な面接による評価の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学力不問」につながる記載の削除 ・推薦書の中で学力の3要素の評価を必須化
内容面での 課題②	特に主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の評価が不十分	特に知識・技能及び思考力・判断力・表現力の評価が不十分	
課題②への 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査書・志願者本人の記載する資料 (エッセイ、面接、ディベート、集団討論、プレゼン、各種大会の顕彰の記録、探究的な学習の成果に関する資料・面談)等の積極的な活用 ・ 調査書等をどのように活用するかについて、各大学の募集要項に明記 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査書等の出願書類だけでなく、各大学が実施する評価方法等 (自らの考えに基づき論を立てて記述させる評価方法(小論文等)、プレゼンテーション、口頭試問、実技、教科・科目に関わるテスト、資格・検定試験等の成績など)、又は大学入学共通テストのうち、少なくともいずれか一つの活用の必須化 	

* 文部科学省「高大接続改革の実施方針等の策定について」(2017年7月)より

全ての区分で学力の3要素が適切に評価されるようにする
具体的には「調査書や志願者本人の記載する資料等」の積極的な活用

21 調査書・提出書類の改善について主なポイント



- ①調査書 → 「指導上参考となる諸事項」の記載欄を拡充する。
- ②推薦書 → 学力の3要素についての記載を必須とすることを検討。
- ★ 学力養成と課外活動（資格等を含む）などの活動歴のバランスが大切★

②活動報告書・面接・論文等

調査書や提出書類等の見直しについて【主なポイント】（案）

①調査書

調査書

- 「指導上参考となる諸事項」の見直し
記載欄を拡充し、以下の①～⑥の各項目ごとに記載するよう分割。
①各教科・科目及び総合的な学習の時間の学習における特徴等
②行動の特徴、特技等
③部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等
④取得資格・検定 ⑤表彰・顕彰等の記録 ⑥その他
※ 調査書の両面1面の制限を撤廃し、弾力的に記載
- 「調査書記入上の注意事項等について」の見直し
共通の留意事項として、以下の内容の記載を求めるよう変更。
③の部活動、ボランティア活動等の具体的な取組
④の資格・検定の内容、取得スコア、時期
⑤の各種大会やコンクール等の内容や時期等
(その他、国際バカロレア、科学オリンピック、生徒の成長の状況に関わる所見など)
- 大学が指定する特定の分野において特に優れた学習成果を上げたことを調査書の備考欄に記載(例:保健体育、芸術、家庭、情報等)
- 「評定平均値」について、学習成績を全体的に把握する趣旨の明確化や目標に準拠した評価の観点から、適切な名称に変更(「学習成績の状況」)
- 入学者受入れの方針に基づき、調査書や志願者本人の記載する資料等を具体的にどのように活用するのかについて、募集要項等に記載する
〔 ※ 調査書等の活用にあたり、各高等学校が定める学校運営の方針等に関する情報について、必要に応じ提供を求めることができる 〕

推薦書

- 入学希望者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価についての記載を必ず求める。その際、生徒の努力を要する点なども、特に配慮を要するものがあれば記載。

志願者本人の記載する資料等

- 活動報告書の記載内容や様式のイメージの例示
・「総合的な学習の時間」等において取り組んだ課題研究等
・学校の内外で意欲的に取り組んだ活動(部活動、ボランティア活動、生徒会活動、資格・検定、各種大会・コンクール、留学・海外経験等)
- 大学入学希望理由書や学修計画書の内容
各大学が、学部等の教育内容を踏まえ、入学希望理由や学びたい内容・計画、卒業後を見据えた目標等を記載させる。
- 活動報告書、大学入学希望理由書や学修計画書の活用
本人が記載する資料の活用にも努める。特に、総合型選抜や学校推薦型選抜において、これらの資料に関するプレゼンテーションなどにより積極的に活用。
- 実技を通じて評価している場合は、必要に応じて、活動報告書等を活用すること
- 入学者受入れの方針に基づき、調査書や志願者本人の記載する資料等を具体的にどのように活用するのかについて、募集要項等に記載する(再掲)

調査書等の電子化

- 「大学入学者選抜改革推進委託事業」(平成28年度～)において、高校段階でのeポートフォリオとインターネットによる出願システムが連動したシステムのモデルや主体性等を評価するためのモデルの開発等を行っており、その取組状況も踏まえながら、調査書等の電子化の在り方について検討。

③ eポートフォリオシステムでの出願

22 国立大学一般選抜における英語資格・検定試験の活用



- ・約2割の国立大学が、一般選抜で英語資格・検定試験を活用。
- ・活用方法は、「みなし満点化」での活用が半数を占める。
- ・活用する理由は、「グローバル社会の中で活躍できる研究者の養成のため」「入学後の学びで英語4技能が必要であるため」などがあげられている。

2021年度 一般選抜において、英語資格・検定試験を活用する国立大学

ベネッセコーポレーション 教育情報センター（2019年12月3日時点の情報に基づく）

大学	学部・学科等	日程	活用方法
秋田大学	国際資源学部	前期	従来通り実施（参考）令和2年度入試では、個別学力検査の英語試験の免除、みなし満点化。
茨城大学	工学部、エフレックス	前期 後期	令和2年度同様の扱い。みなし得点化、高得点採用。
千葉大学	国際教養学部、文学部（人文学科日本・ユーラシア文化コース）、法政経学部、教育学部、理学部、工学部、園芸学部、薬学部、看護学部	前期	・国際教養学部、教育学部（学校教員養成課程英語教育コース）は、みなし満点化、加点 ・園芸学部、看護学部、文学部（人文学科日本・ユーラシア文化コース）、法政経学部、教育学部（英語教育コースを除く）、理学部、工学部、薬学部は、加点
東京海洋大学	全学部	前期 後期	出願資格
東京芸術大学	音楽学部	前期	みなし満点化
金沢大学	人間社会学域（人文・経済・学校教育・地域創造・国際）、一括（文系一括、理系一括）、医薬保健学域（保健）	前期	みなし得点化、高得点採用
福井大学	国際地域学部	前期 後期	みなし満点化
大阪教育大学	教育（小中教育専攻・中等教育専攻英語教育コース、グローバル教育専攻英語コミュニケーションコース）	前期	利用する英語能力測定試験及び活用方法は、令和2年度入試を踏襲する予定。（参考）令和2年度入試では、加点
広島大学	全学部	前期 後期	みなし満点化
山口大学	国際総合科学部	前期 後期	加点
九州大学	共創学部	前期	みなし満点化
九州工業大学	全学部	前期 後期	加点
佐賀大学	全学部	前期 後期	（参考）2020年度入試では、みなし得点化、高得点採用
長崎大学	多文化社会学部	前期 後期	みなし満点化
宮崎大学	工学部	前期	個別学力検査における英語試験の免除、みなし満点化
鹿児島大学	全学部	前期 後期	みなし満点化、加点



コロナ禍でオープンキャンパスなどが中止。

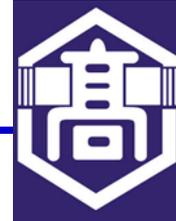
大学を知る機会が減っている。

→アドミッションポリシーと自分の志望動機がしっかりマッチするか、自分の言葉で語れるかこれまで以上に重要！

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

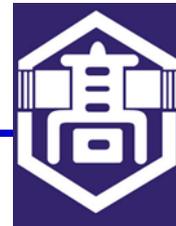
大学での学業を通して「持続可能な社会づくり」のための具体的な提案、実践ができる能力にむすびつく以下のような資質を有した人を求めます。

- 汎用的な問題解決能力の向上が期待できる人。
- 地域や世界における環境問題に強い関心を持ち、問題の改善に貢献したいと考えている人。
- 高等学校での生活において、学業や探求的活動の中に興味・関心を感じ、積極的に課題に取り組んだ経験のある人。

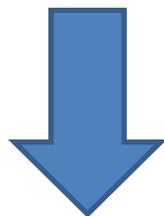


令和2年度高校生の就職活動について

江津高校進路指導部
資料厚生労働省HPより



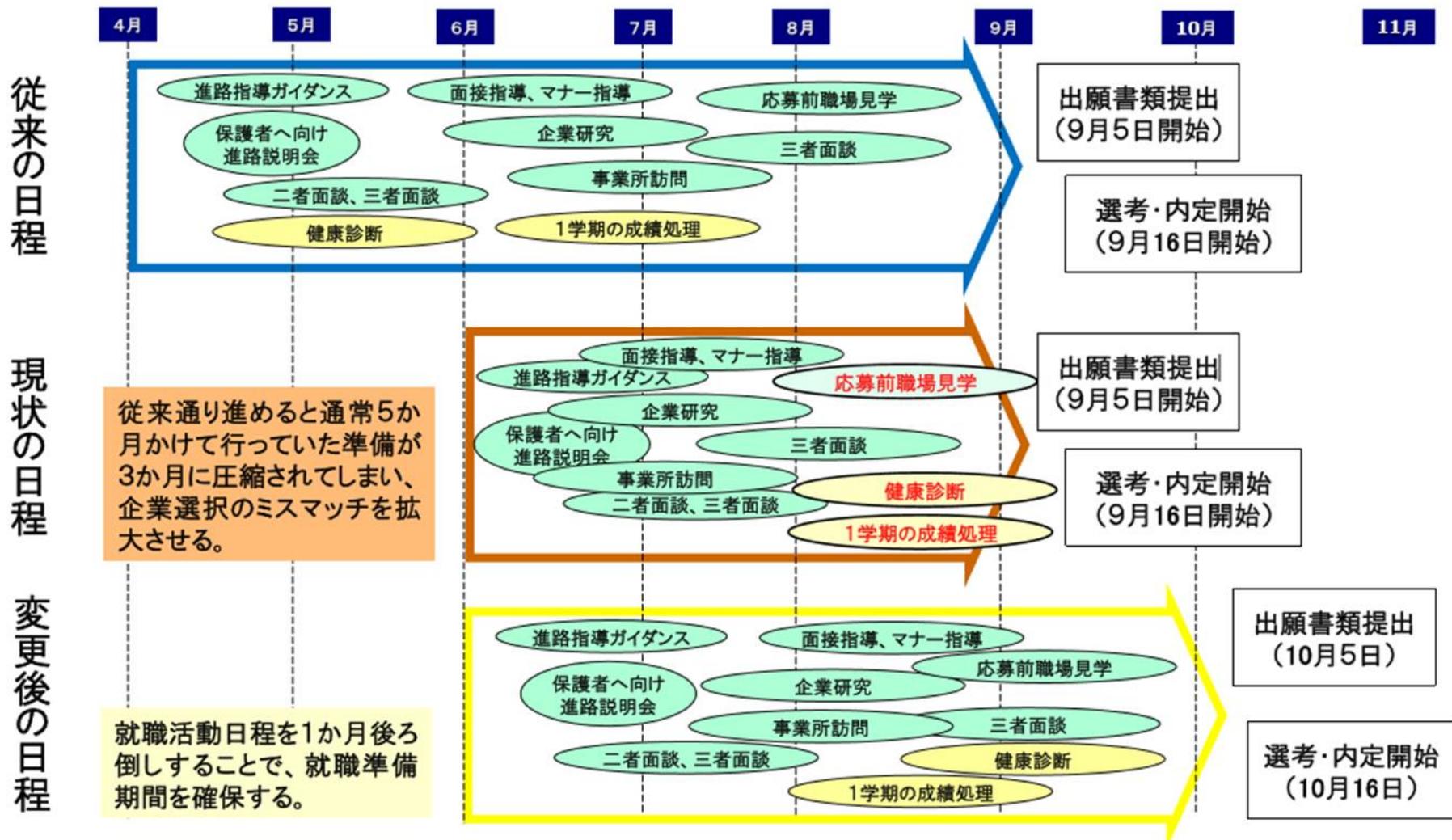
新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ厚生労働省から下記の方針が示され、全国で統一実施されている就職活動日程が変更されました。詳細は次のスライドで示されています。



【令和3年3月新規高等学校卒業者の採用選考期日等】

- 企業による学校への求人申込及び学校訪問開始 7月1日
※変更無し
- 学校から企業への生徒の応募書類提出開始 **10月5日**
(沖縄県は**9月30日**)
※変更前は9月5日
(沖縄県は8月30日)
- 企業による選考開始及び採用内定開始 **10月16日**
※変更前は9月16日

令和2年度の高校生の就職活動日程の変更について





2020年度

進路NAVIGATOR



島根県立江津高等学校
進路指導部

目 次

1. 進路指導関係年間計画	1
2. 進学について	2
(1) 大学入試スケジュールと大学入学共通テストの概要	2～6
(2) 学校選抜型・総合選抜型入試について	7
(3) 募集要項請求から入学手続きまでの流れ	8
3. 就職について	9
(1) 一般企業の採用試験について	9
(2) 就職試験関係資料	10～12
(3) 公務員試験について	13
4. 過去3年進路決定状況	14～16
5. 合格体験記	17～24

表紙絵 令和元年度卒業生 河野 心和